

欧州景気概況(2023年4月)

2023年4月4日

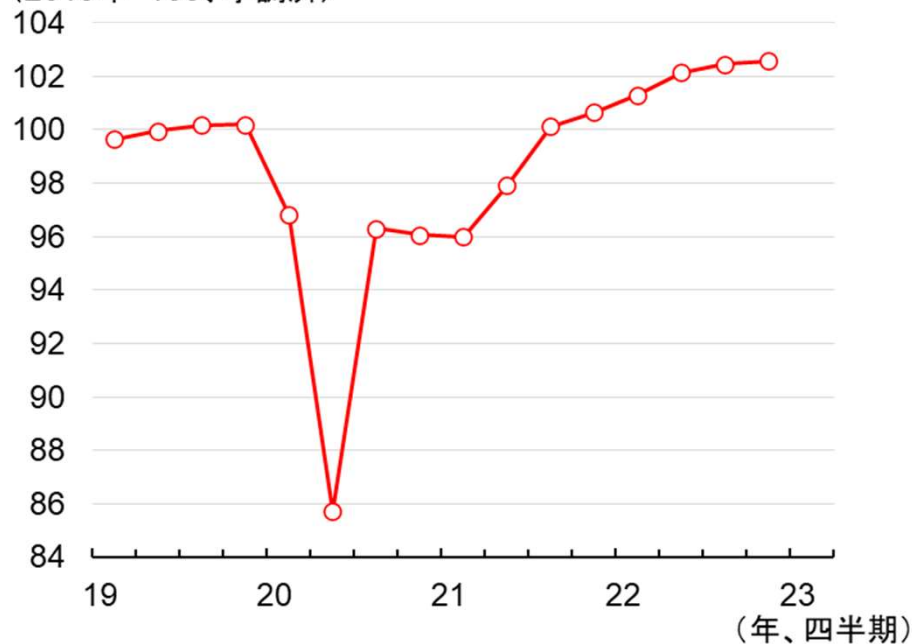
調査部 副主任研究員 土田陽介

ユーロ圏景気概況① 景気は足踏みしている

ユーロ圏の2022年10-12月期の実質GDP(確報値)は前期比横ばいと、2四半期連続で増勢が鈍化した。個人消費や総固定資本形成といった内需の悪化が顕著だった。一方で、景気の方角を示す景況感指数は、最新2023年3月が99.3と前月(99.7)から小幅ながら低下し、年明け以降も景気が足踏みしている様子を物語る。

実質GDP

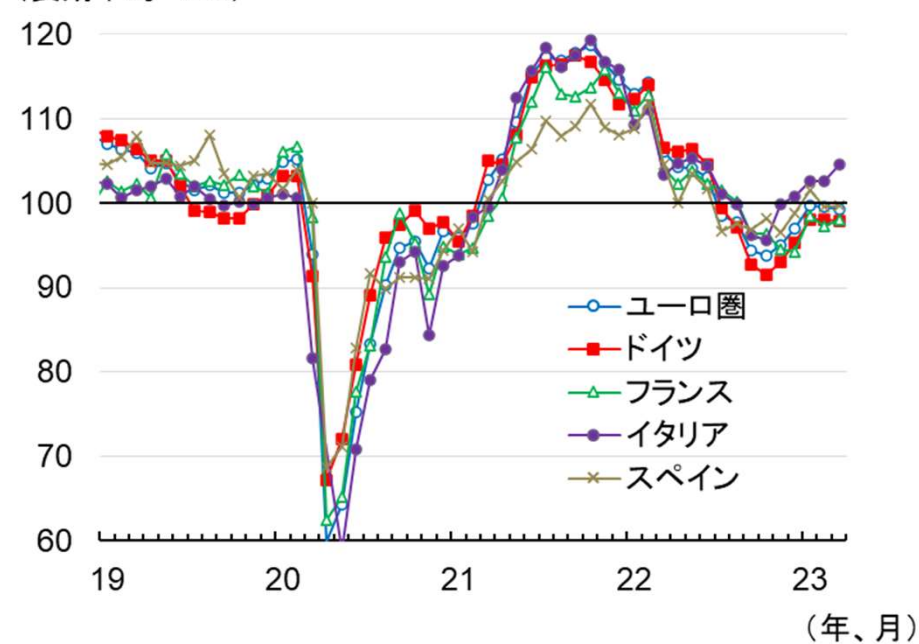
(2019年=100、季調済)



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

景況感指数

(長期平均=100)



(出所) 欧州委員会ECFIN

ユーロ圏景気概況② 生産は足踏み

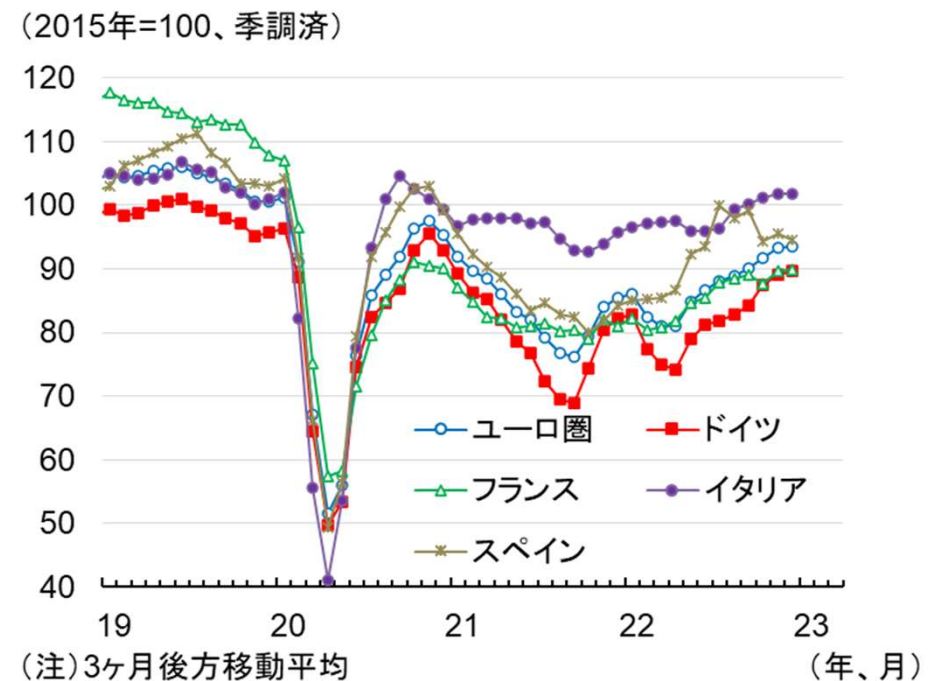
ユーロ圏の1月の鉱工業生産は前月比+0.7%と再び増加も、均した動きは横ばい。中間財が持ち直した。自動車生産台数は、フランスを除く各国で持ち直している。

鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ユーロスタット

自動車生産台数(鉱工業生産ベース)



(注) 3ヶ月後方移動平均
(出所) ユーロスタット

ユーロ圏景気概況③ 消費は悪化

ユーロ圏の1月の小売数量は前月比+0.3%と再び増加も、均した動きは下向き。一方、翌2月の新車販売台数は前月比+3.5%の年率885万台と再び増加も、均した動きは頭打ち。ドイツで電動車の購入補助金が縮小されたことや金利高が進んだことなどで、市場の回復が一服した模様。

小売数量



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ユーロスタット

新車販売台数

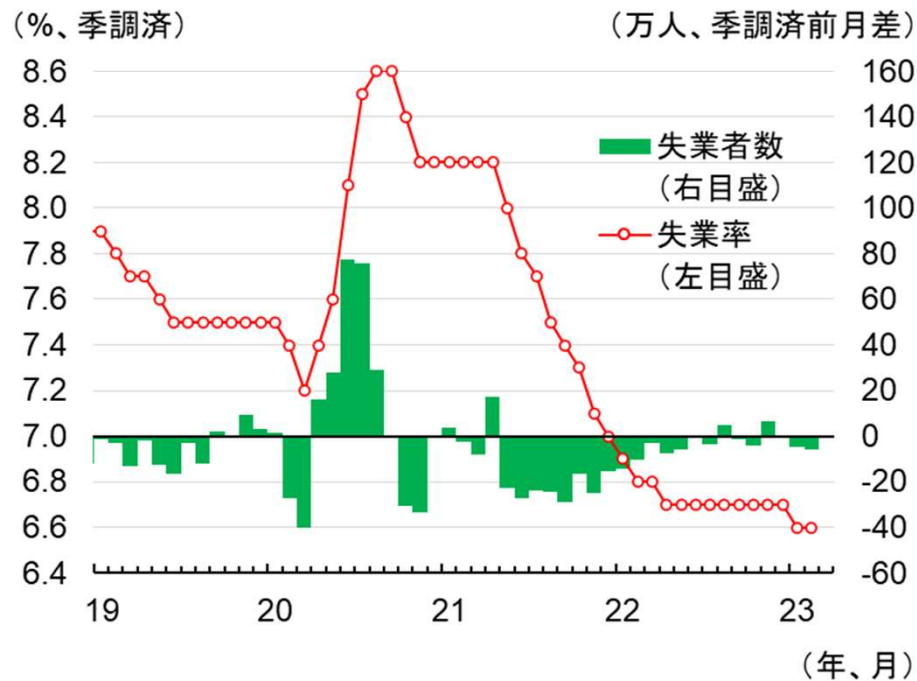


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) 欧州中央銀行(ECB)

ユーロ圏景気概況④ 雇用は改善が進む

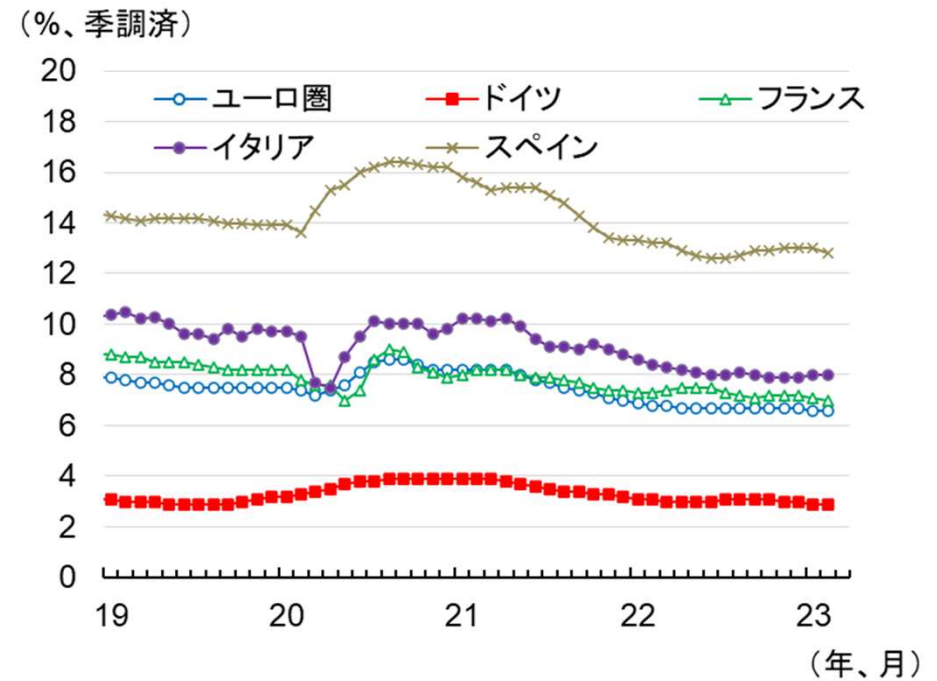
ユーロ圏の2月の失業率は6.6%と2ヶ月連続で横ばいも、失業者数が前月比5.6万人減と2ヶ月連続で減少幅が拡大しており、雇用は改善が進んだと判断。主要国別に失業率を見ると、各国ともわずかな低下か横ばいにとどまっている。

失業率と失業者数



(出所)ユーロスタット

主要国別失業率

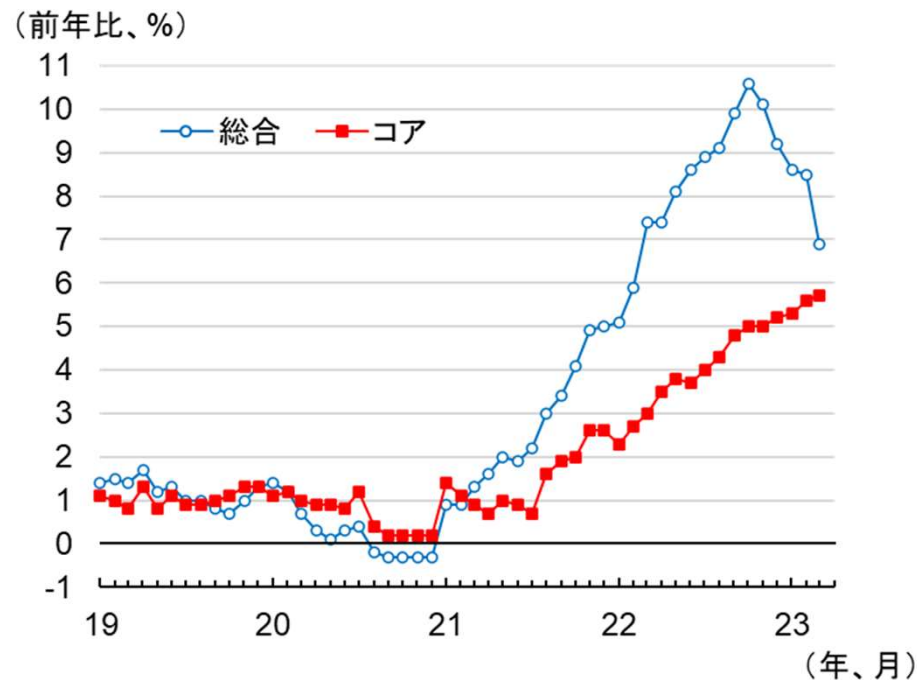


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑤ インフレは鈍化

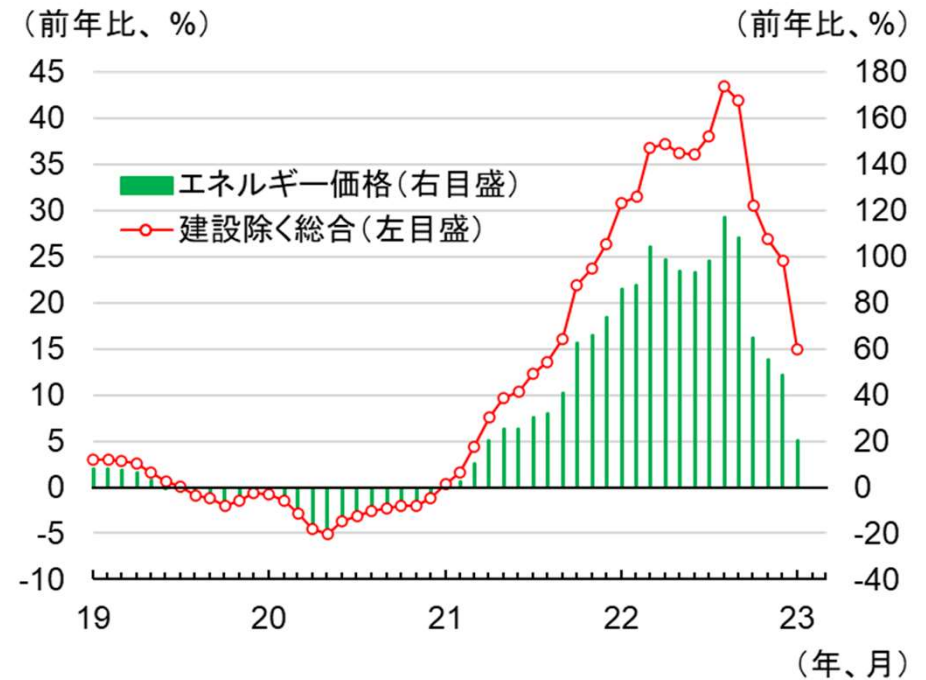
ユーロ圏の3月の消費者物価(速報値)は総合ベースで前年比+6.9%と、前月(同+8.5%)から伸びが大きく減速した。しかし変動が激しい項目を除いたコアベースでは同+5.7%と、伸びの加速が続いた。一方、生産者物価(建設除く総合)は1月時点で前年比+15.0%と、5ヶ月連続で上昇が減速した。

消費者物価



(出所)ユーロスタット

生産者物価

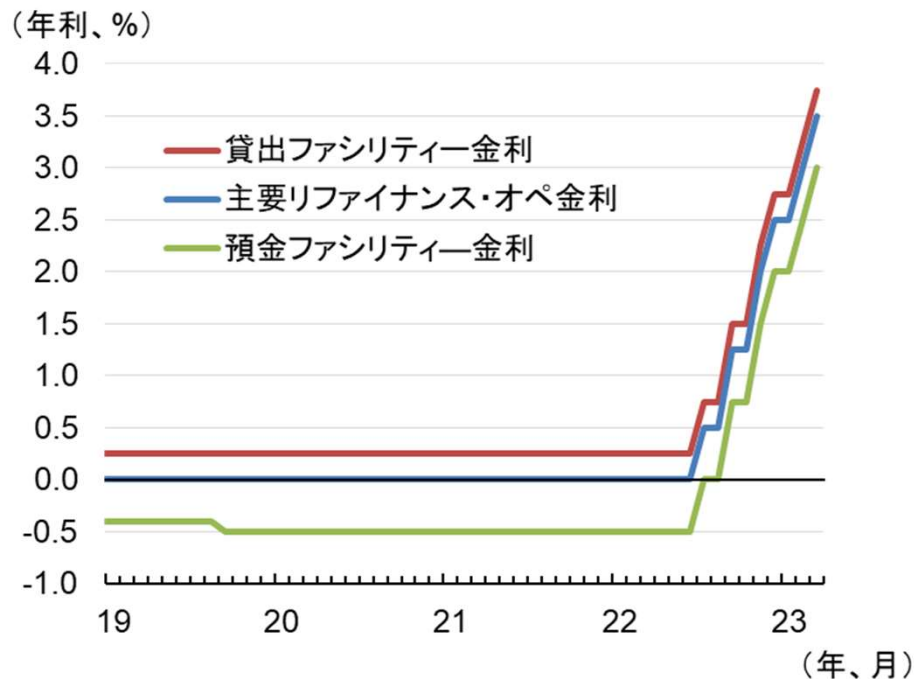


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑥ ECBは3月理事会で追加利上げを実施

欧州中央銀行(ECB)は3月16日に定例の政策理事会を開催、政策金利をそれぞれ0.5%引き上げた。またECBは3月より部分的再投資(partial reinvestment)に着手、6月まで月150億ユーロずつ保有資産を削減。さらに米国発の金融不安が欧州にも伝播したことに鑑み、必要に応じて流動性を供給する準備があるとも表明。次回理事会は5月4日を予定。

ECBの政策金利



(出所) 欧州中央銀行(ECB)

3月理事会での決定内容の概要

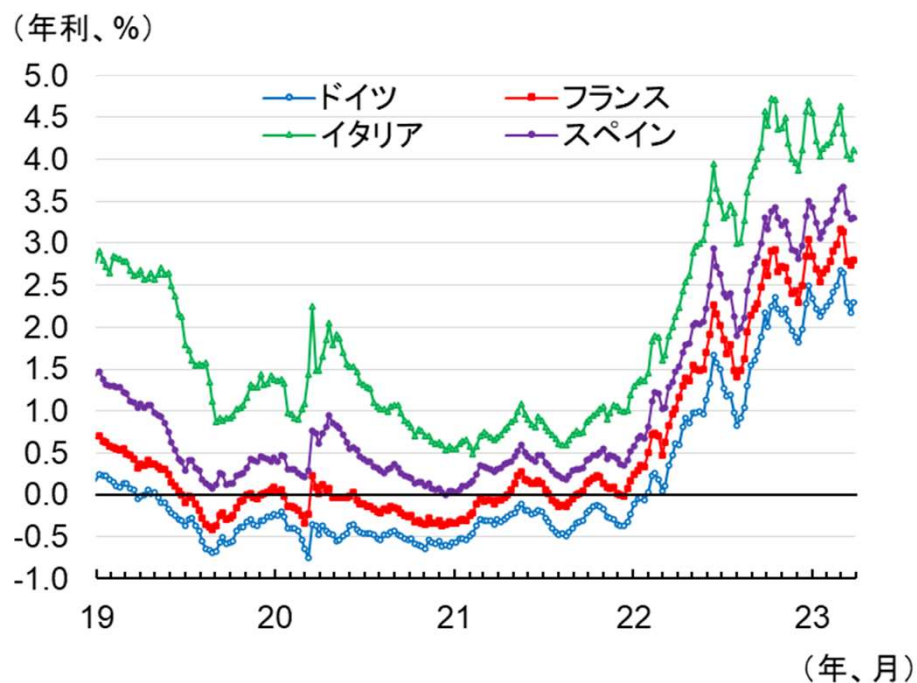
主な決定事項	内容
政策金利	<ul style="list-style-type: none"> ■各政策金利を0.5%ずつ引き上げ ・貸出ファシリティ金利 3.25%→3.75% ・主要リファイナンス・オペ金利 3.00%→3.50% ・預金ファシリティ金利 2.50%→3.00%
資産購入の再投資政策	<ul style="list-style-type: none"> ■資産購入プログラム(APP) ・3月から6月まで月150億ユーロのピッチで保有資産を削減 ・社債の再投資に関しては環境への配慮を重視 ■パンデミック緊急購入プログラム(PEPP) ・再投資は2024年末で終了 ・各国中銀の出資比率に応じた資産購入などを適用せず、柔軟な購入を行う
市場分断防止策(TPI)	<ul style="list-style-type: none"> ■TPIの適用条件 ・EUが定める財政ルールへの順守 ・健全なマクロ経済運営(過剰な経常赤字の是正など) ■TPIの具体的な手段 ・流通市場での国債購入、金額は無制限 ・購入対象資産は国債が中心、社債も視野、満期1~10年 ・状況が改善すれば終了 ・経済の基礎的条件に基づく金利上昇には適用せず

(出所) ECB

ユーロ圏景気概況⑦ 金利は低下、株価は下落

3月のユーロ圏主要国の長期金利は低下。米国発の金融不安が欧州に波及し、リスク回避の流れが強まって金利が低下した。他方で、3月のユーロ圏の株価は下落した。金融不安の流れを受けて銀行株が大幅に下落し、相場全体を押し下げた。

長期金利



(出所) ECB

株価 (Eurostoxx50)



(出所) STOXX

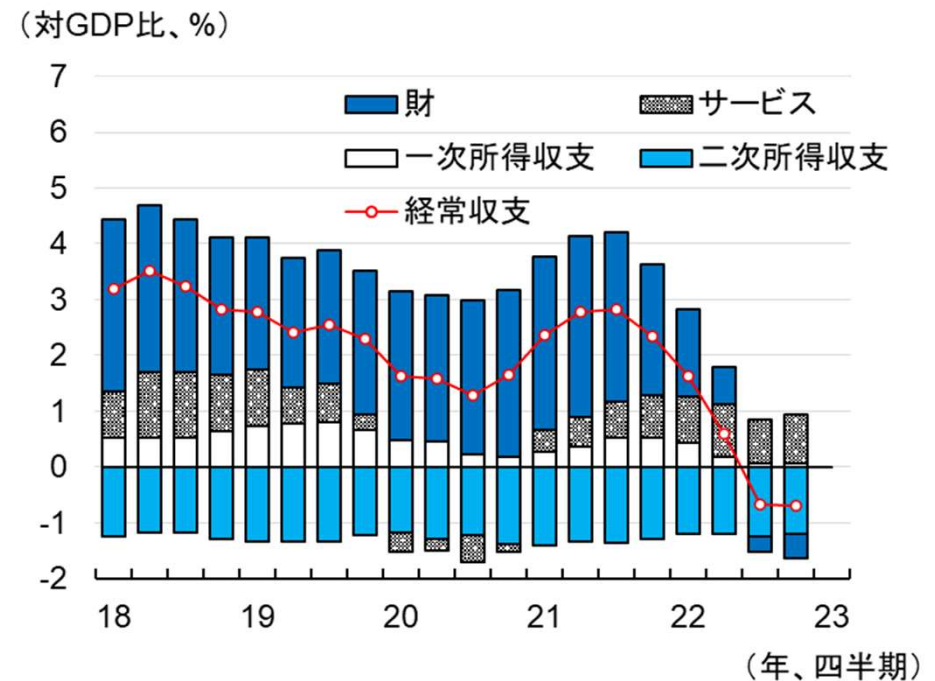
ユーロ圏景気概況⑧ ユーロは対ドルで上昇、対円で横ばい

3月のユーロ相場は対ドルで上昇、対円で横ばい。対ドルでは、米国発の金融不安が嫌気され、ユーロ高が進んだ。対円でも、ドルからの逃避資金が円に流入し、横ばいとなった。国際収支は経常収支が赤字に転落しており、実需面からのユーロ買い圧力は弱まっている。

ユーロ相場



国際収支

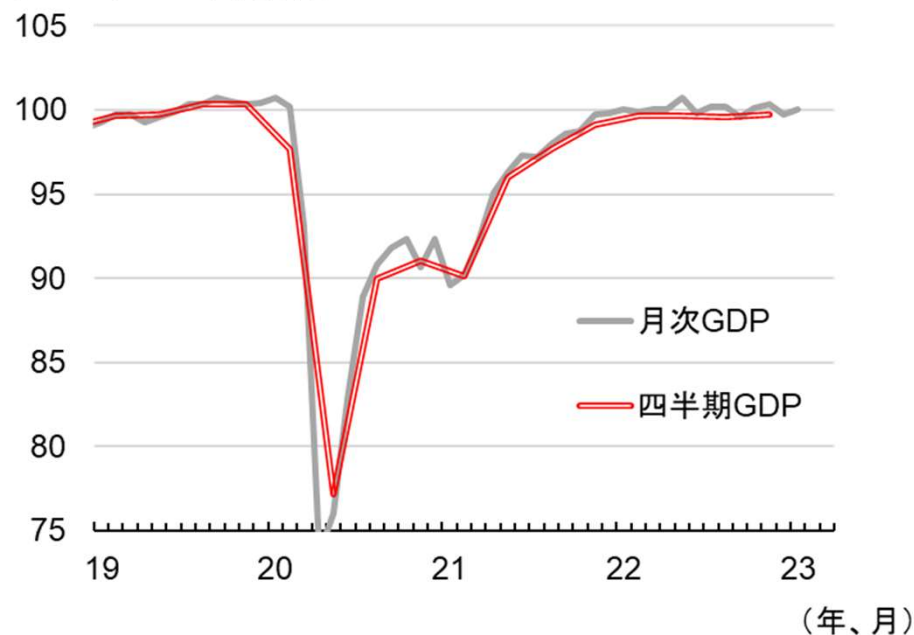


英国景気概況① 景気は足踏みしている

英国の2022年10-12月期の実質GDP(確報値)は前期比+0.1%になった。主要な需要項目の動きを確認すると、輸出が減少したほか、個人消費と設備投資が横ばいとなった。一方、1月の月次実質GDPは前月比+0.3%と、再び増加に転じた。

実質GDP

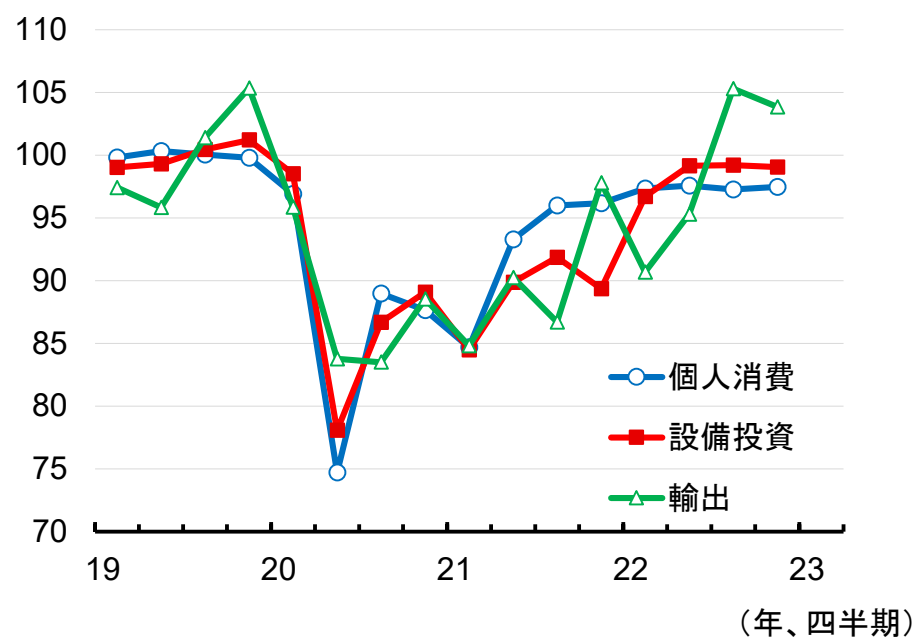
(2019年=100、季調済)



(出所)英国立統計局(ONS)

主要な需要項目

(2019年=100、季調済)



(出所)ONS

英国景気概況② 生産は横ばい

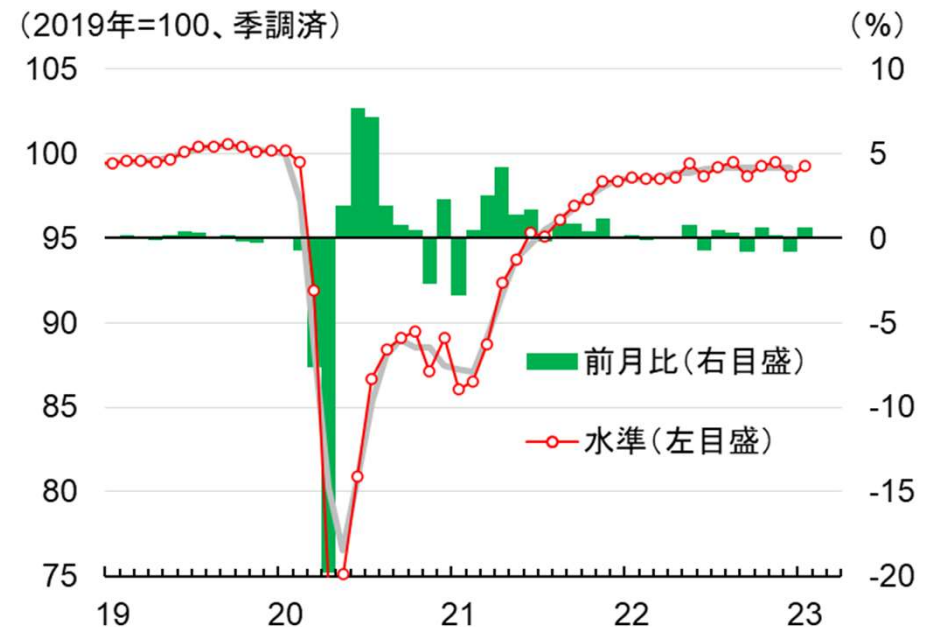
英国の1月の鉱工業生産は前月比▲0.3%と減少し、均した動きは横ばい。一方で、同月の実質輸出は同▲9.9%と4ヶ月連続で減少し、均した動きも下向き。また同月のサービス生産は前月比+0.6%と再び増加に転じたが、均した動きは横ばい。

生産と輸出



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所)ONS

サービス業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所)ONS

英国景気概況③ 消費は底入れ

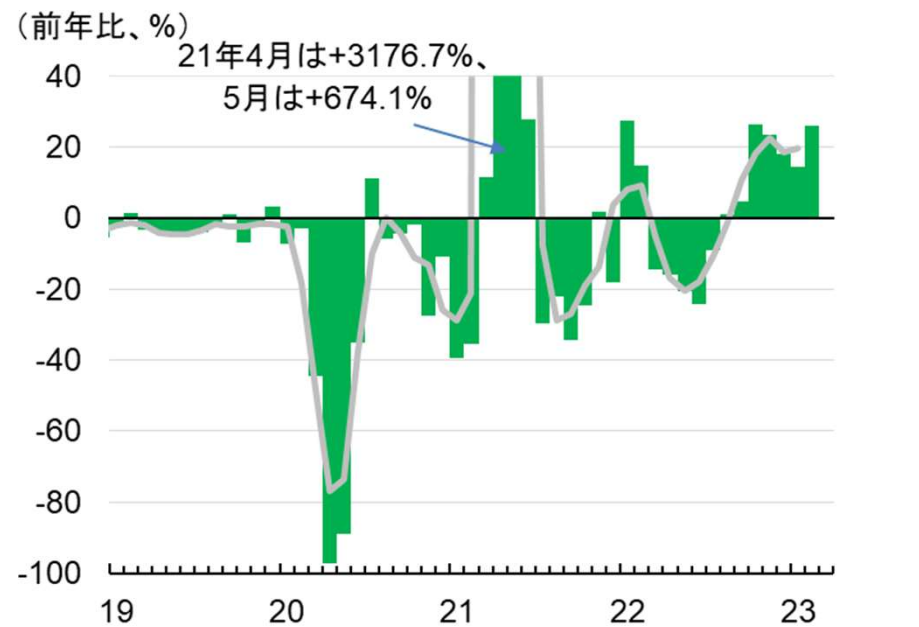
英国の2月の小売数量(除く石油)は前月比+1.4%と2ヶ月連続で増加し、均した動きは底入れ。一方で、同月の新車販売台数(乗用車)は前年比+26.2%と4ヶ月ぶりに増勢が加速。均した動きは前年比2割増のピッチが定着したが、登録台数の水準(均して月12万台レベル)は依然として低い。

小売数量(除く石油)



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所)ONS (年、月)

新車販売台数(乗用車)

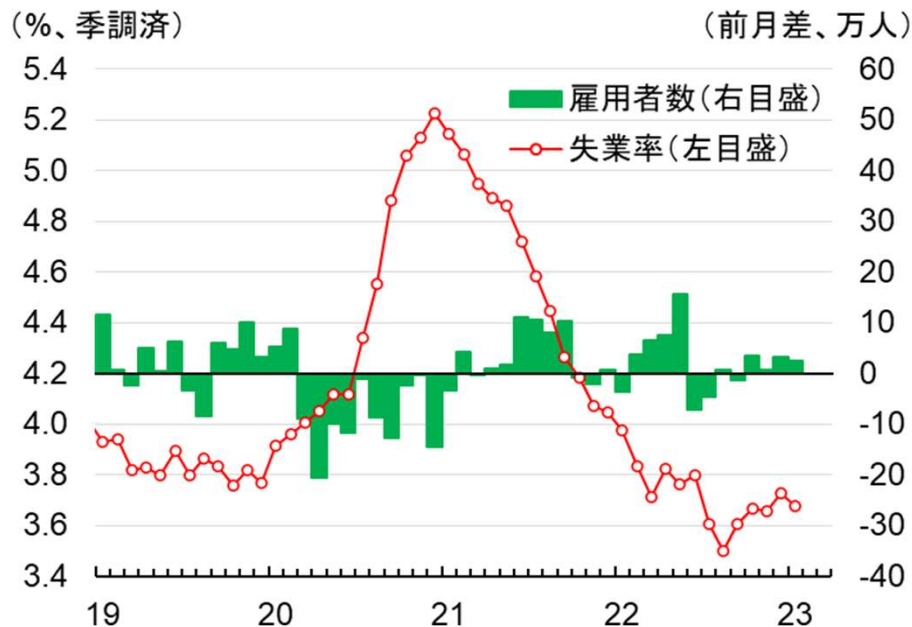


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所)ONS (年、月)

英国景気概況④ 雇用は改善が足踏み

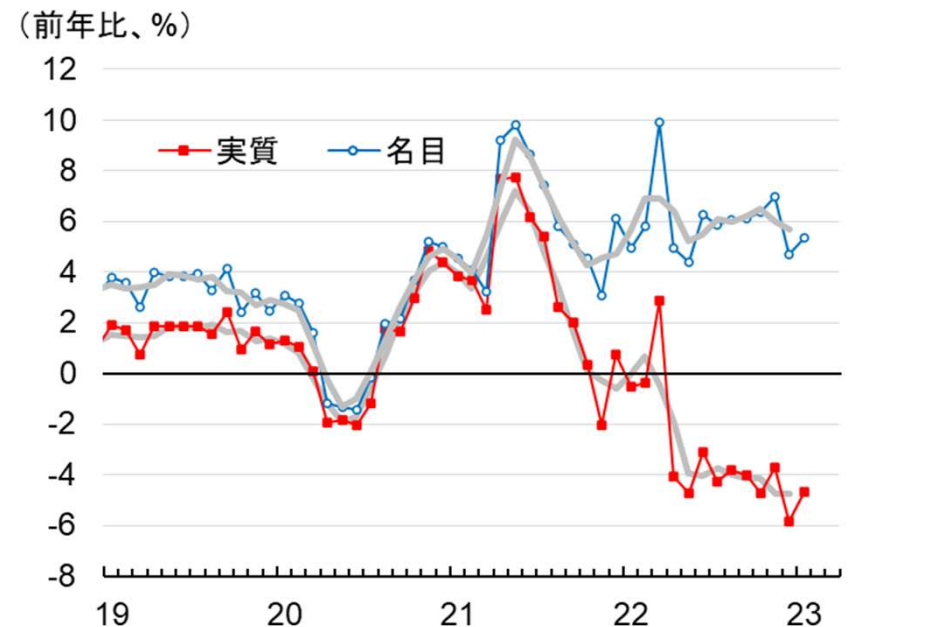
英国の1月の雇用統計(3ヶ月後方移動平均)では、失業率が3.67%と前月(3.73%)からわずかに低下も、雇用者数は前月比2.5万人増にとどまったため、雇用は改善が足踏みと判断。均した賃金の動きは名目ベースだと前年比6%前後のプラス幅が定着も、消費者物価で実質化した実質ベースでは減少幅が5%近くまで達した。

雇用統計



(注)3ヶ月間の平均値
(出所)ONS

平均賃金(週給)

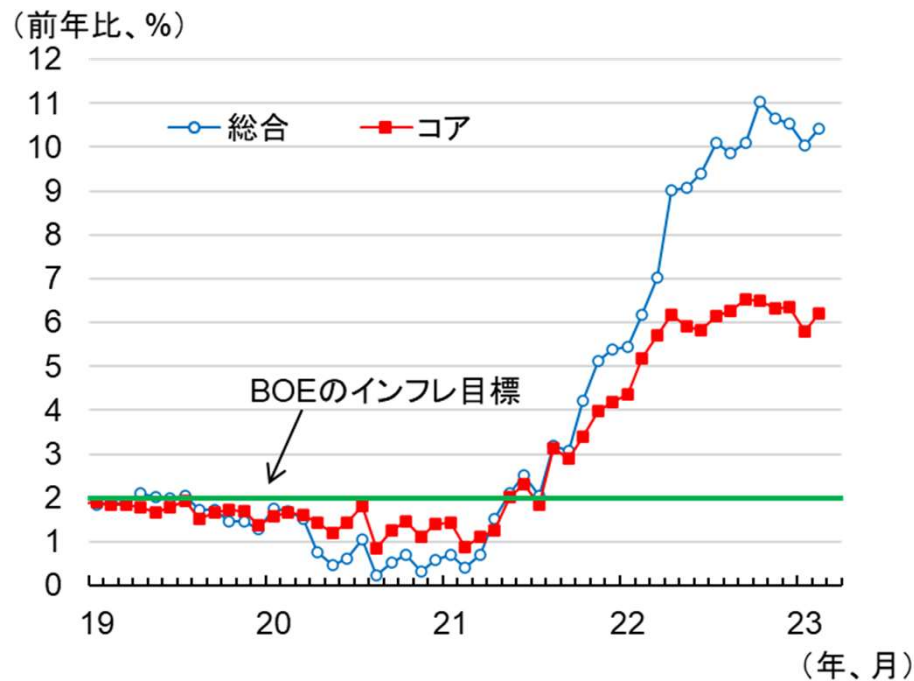


(注)灰色線は3ヶ月移動平均
(出所)ONS

英国景気概況⑤ デイスインフレが停滞

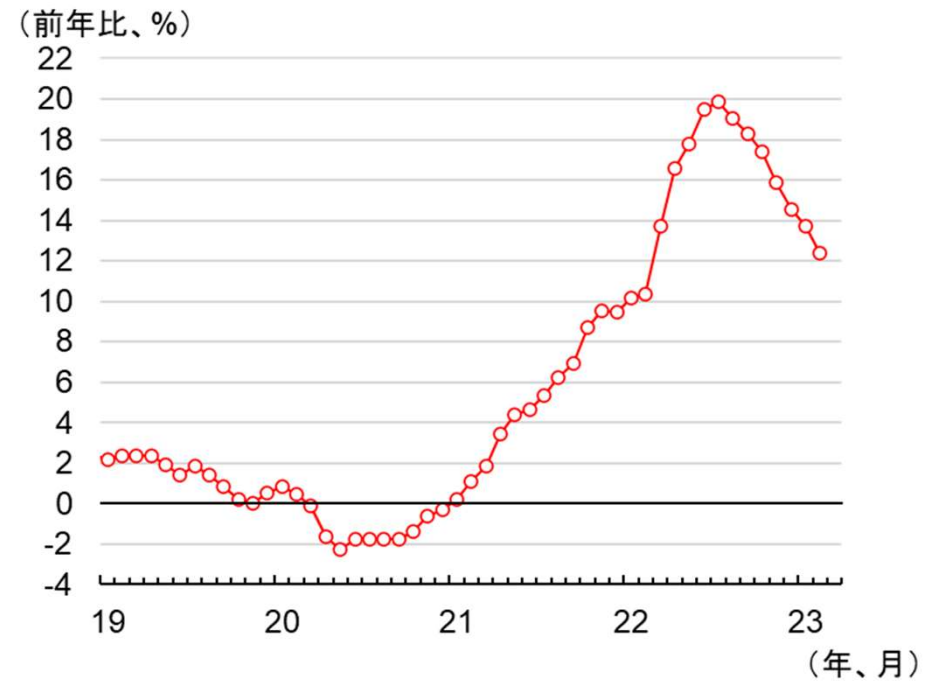
英国の2月の消費者物価は総合ベースで前年比+10.4%と前月(10.1%)から上昇が加速。また変動が激しい項目を除いたコアベースも同+6.2%と伸びが再び加速するなど、デイスインフレが停滞。消費者物価の先行指標となる生産者物価は2月時点で同+12.4%と、7ヶ月連続で伸び率が低下した。

消費者物価



(出所)ONS

生産者物価(投入価格、除く関税)

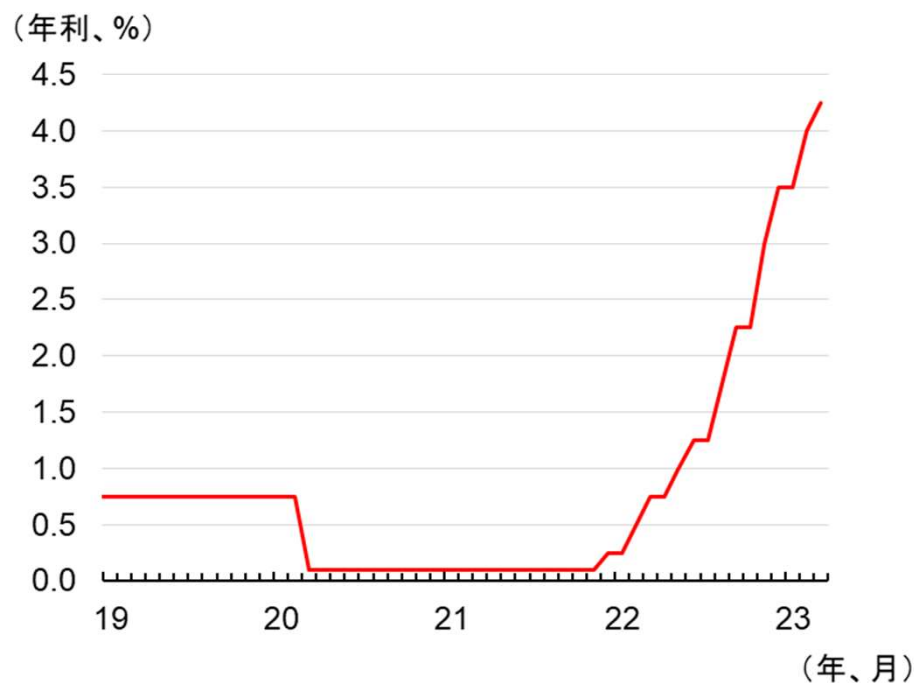


(出所)ONS

英国景気概況⑥ BOEは3月委員会で追加利上げ

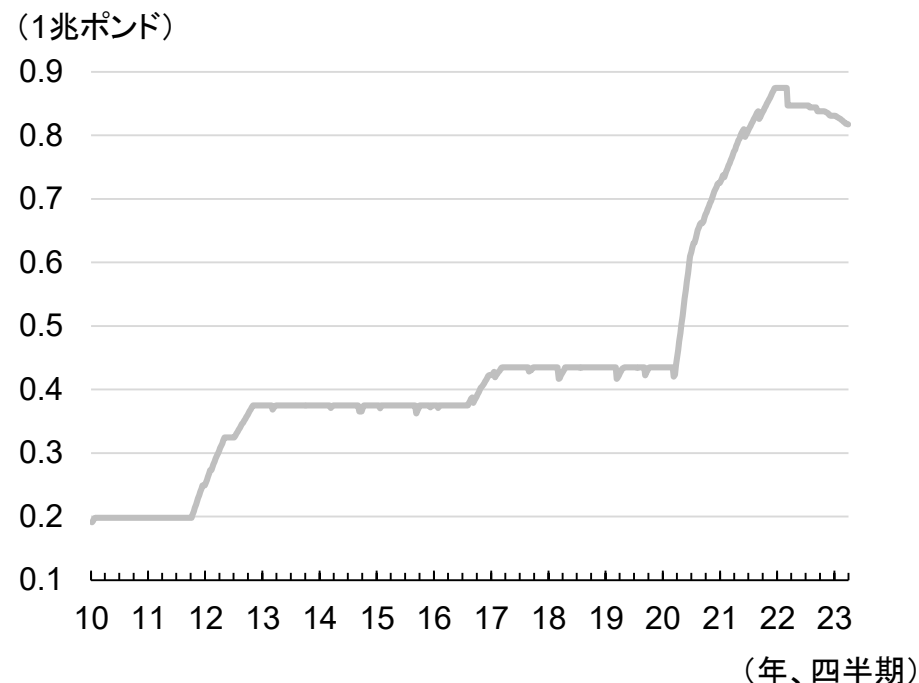
イングランド銀行(BOE)は3月23日に開催した金融政策委員会(MPC)で、政策金利(バンクレート)を0.25%引き上げ、年4.25%にした。またBOEは2022年11月から保有国債の市中売却を開始しており、国債の保有高は徐々に減少している。次回のMPCは2023年5月11日に開催される予定。

政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

英中銀の国債保有高



(出所)BOE

英国景気概況⑦ 金利は低下、株価は下落

3月の英国の長期金利は低下した。米国発の金融不安が欧州に波及し、リスク回避の流れが強まって金利が低下した。他方で、3月の英国の株価は下落した。金融不安の流れを受けて銀行株が大幅に下落し、相場全体を押し下げた。



(出所)BOE

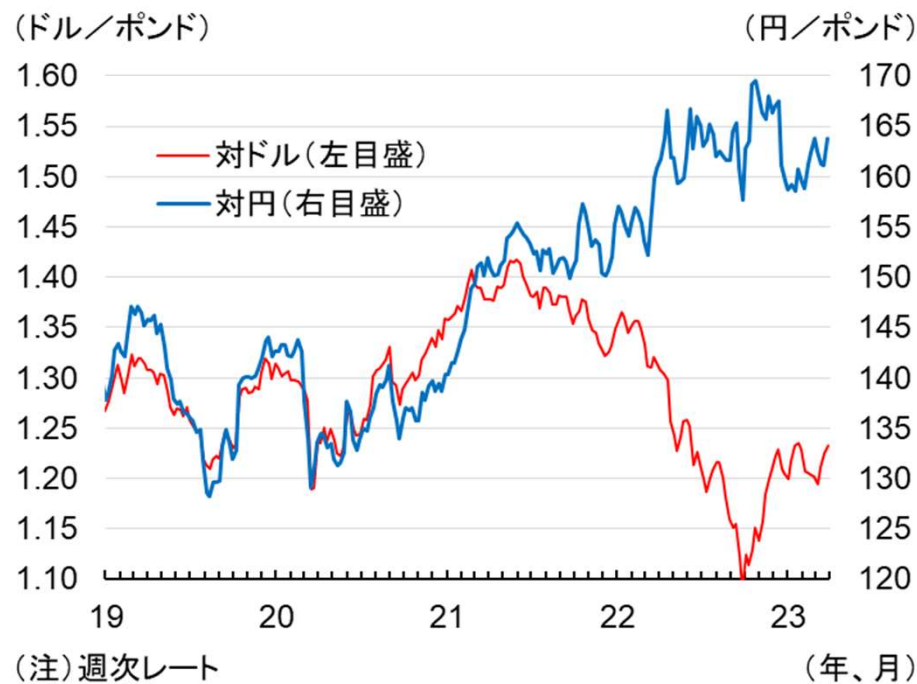


(出所)BOE

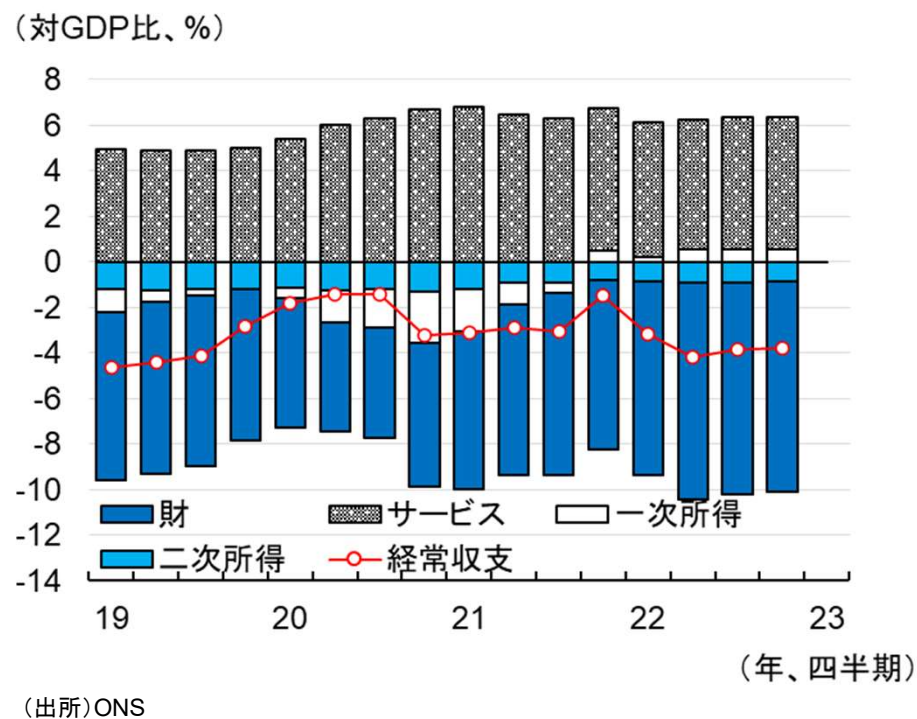
英国景気概況⑧ ポンドは対ドルで上昇、対円で横ばい

3月のポンド相場は対ドルで上昇、対円で横ばい。対ドルでは、米国発の金融不安が嫌気され、ポンド高が進んだ。対円でも、ドルからの逃避資金が円に流入し、横ばいとなった。国際収支を確認すると、経常収支の赤字幅は高止まりしており、実需面からのポンド買い圧力は弱いままである。

ポンド相場



国際収支



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください